

## 軽症・無症状 医師診断経て

福井県内の新型コロナウイルス感染者が急増する中、自宅で健康観察中の軽症・無症状者は20日時点で174人。このうち、病院

## 本人希望で「自宅観察」

や宿泊療養施設を経由せずに直接自宅で健康観察している人は102人に上る。県は14日から、病院や宿泊療養施設に入つて症状が

ほぼなくなつた患者が療養期間の終盤数日を自宅で過ごす「自宅観察」を導入。18日からは医師が診断した上で、軽症・無症状者が医

## 福井県「自宅療養と一線」

望する軽症・無症状者が対象。期間中は、県の「陽性者・接触者サポートセンター」に常駐する保健師や看護師が1日2回連絡。スマートフォンのテレビ電話機を使って、症状の有無や顔色などを確認する。必要に応じて食料品も配布する。症状が悪化した場合は医師の判断に基づき、すぐに入院できる。

デルタ株による流行第5

波では、都市部を中心に感染者の病床が満床になり、医師の診断がないままに自宅にとどまるしかない「自宅療養」が発生。重症化や死亡するケースが問題となつた。「自宅観察」と「自宅療養」は言葉は似ているが、県対策チームは「自宅観察は医師会と連携して入念に準備したシステム。自宅療養とは一線を画する」と説明している。(高島)